

「議会のあり方」検討協議会第10回第2部会 協議概要

- 1 日 時 平成24年10月18日（木）午前10時～午前11時30分
- 2 会 場 議会棟 3階 第2委員会室
- 3 出席者 （委員）布施部会長、湯浅副部会長  
川村委員、段木委員、酒井委員、佐々木(友)委員  
小田委員  
小川委員長  
（事務局）事務局長及び事務局次長 他5人
- 4 傍聴者 （議員）なし  
（一般）1人
- 5 協議事項及び協議結果
  - （1）第9回部会における協議概要等について  
資料を配付し、了承を得た。
  - （2）「議会報告会」について  
最初に、本市議会で議会報告会を開催するとはどのような内容のものが考えられるのか、各委員から提案や考えなどを聴取し、その後、意見交換を行った。  
議会報告会については、大方の意見としては実施することに積極的であるが、反対の意見も出された。  
今回は、各委員より出された意見等について正副部会長でまとめた資料をもとに、さらに議論を深めることとした。

（主な意見）

- ・議会報告会は議員個人か会派で行うべきもので、議会全体で行うことではない。それぞれ役割分担があるのではないか。
- ・市民参加を少しでも促していくようなものはできないかということを考えて、議会を身近に感じてもらえるもの、議会としてやってみる価値がありそうな企画を出し合ったらいいのではないか。
- ・情報収集がきちんと行われ、常任委員会などにしっかり上げていけるような形が作れたらいいのではないか。また、行うときはテーマを決めてやるべきではないか。
- ・議会全体として、個々の議員が支持者や後援会の方から聞いている意見

と違う意見を持った市民の話は聞けていないので、様々な意見を持った市民の方が参加できるような取り組みが必要ではないか。

- 報告会を開催するにしても、コンセプトや意義、目的をきちんと決めておかないといけない。考え方はしっかりしながら、色々なやり方を我々が発想を転換して考えていく必要があるのではないか。
- 二部形式にして、一部で報告を行い、二部を懇親、懇談の場とするなど、制度設計が大変ではないところからスタートしてはどうか。
- まず聴くということが必要ではないか。それを無視されてきたようなイメージを持った市民が、政治から離れてしまっているのではないかと感じる。市民が自分の意見を聴いてもらう機会をつくるのが、議会としての信用度を高めることにつながり、それによって市民参加が促されるのではないか。
- 議員が議会報告を行うときに、開催する場所がないので困っている。これは全員共通の話題ではないか。
- 報告会を本当に行うとしたら、かなり大変な作業があるのは確か。それを敢えて行ってでも市民とどのようにつながっていくのかは大事な視点なので、それに臆することなくやれたらいいと思う。
- 議会が不足しているものは報告の方ではなく、吸い上げの方では。そこを議論した方がもっと良い市民参加の場になると思う。また、テーマをきちんと設定して、ある程度ターゲットを絞っていかないと市民は来ないと思う。子ども議会も祭りの一環として、一つのイベントとして行ってみるのも面白いのではないか。(委員長)

### (3) 次回の開催日程について

次回の部会は、11月20日(火)午後1時から開催することとした。